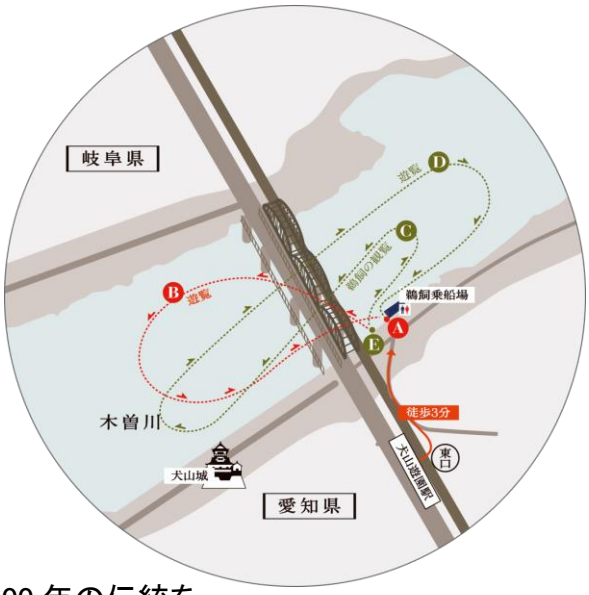
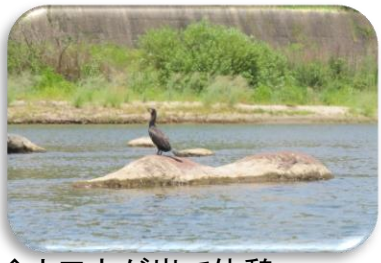


◇鵜飼は鵜匠が「海鵜」を訓練して川魚を捕らせる古代漁法で、1300 年の伝統を誇る幻想的な漁法であり、犬山では「昼鵜飼」も行っている。鵜飼船には鵜匠と船頭が乗り鵜匠は鵜に手縄を付け 10～12 羽を巧みな手縄さばきで、「鵜飲み」にした魚を吐き出させるが、この締め具合が一番難しいと言う。

◇鵜飼船の船着き場(木曽川左岸)

◇船内で昼食

◇舞子寿司弁当


◇カワウが岩で休憩

◇下流の「犬山橋」

◇右岸に有る昔の渡し船跡(燈篭)

◇左岸の白帝城(犬山城)

◇船着き場で鵜飼の全体説明

◇鵜飼の流し風景

◇飲み込んだ魚を吐き出させる(→)

◇鵜匠と海鵜の羽干し